

# 令和6年度 宮崎県立小林こすもす支援学校自己評価

4段階評価

A 十分満足できる    B ほぼ満足できる    C やや物足りない    D 改善を要する

## 【 総 評 】

評価項目	評価指標	学校の自己評価結果コメント	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 教育活動	① 児童生徒の実態に応じた教育計画の作成と評価	関連する全ての項目において、A、B と評価した割合が8割を超えている。日々の教育活動の充実について意識をもち、推進していると言える。課題を挙げるとすれば、②、③、⑦の項目について、C評価が10%を超えている。各学部（キャンパス）が離れて設置されていることに起因することもあると考えられることから、円滑な情報共有及び施設設備の更なる充実について取り組んでいく必要性があると考えている。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒へ向き合う時間をより多く確保できるよう業務の見直しを続けて欲しい。</li> <li>・特に④については併設校との交流で養われている部分があると考ええる。</li> <li>・A、B評価が全体の8割を超えており、教育は充実していると言えると思う。B評価がA評価に移行していくよう努めていただきたい。</li> </ul>
	② 学部間、校務分掌間が連携した円滑な校務運営				
	③ 生きる力を育むための教材の開発、学習環境の整備				
	④ 集団参加と対人関係能力の育成				
	⑤ 教育方針や教育活動についての保護者への説明				
	⑥ 児童生徒への適切な指導と必要な支援				
	⑦ 児童生徒や保護者のニーズに応じた教育の展開				
	⑧ 児童生徒の障がいの状態や発達段階等に応じた教育の実践				
2 連携・支援	⑨ 個別の指導計画等を作成し、長期目標を意識した実践	5項目全てにおいて、9割以上がA、Bと評価されている。特に保護者との細やかな連携について、職員の意識は高いといえる。 また、「インクルーシブな学校運営モデル事業」が開始され、一層交流及び共同学習における「共同学習」に関する取組の充実が推進された結果であると考えている。併設校との連携を生かし、計画的に学習活動を進め、共生社会に向けた学校づくりへの取組が推進できていると考えている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズの多様化が予想される。各家庭への細やかな対応を継続して欲しい。</li> <li>・交流が盛んに行われており、児童生徒の実態に合わせた指導が行われている。</li> <li>・交流活動が地域へ広がるとよい。</li> <li>・保護者からも高い評価を得ており、職員の取組の成果がうかがえる。</li> </ul>
	⑩ 保護者へのきめ細かな連絡				
	⑪ 交流活動等を通じた、共生社会を目指す学校づくりの推進				
	⑫ 学級の児童生徒の実態に応じた計画的できめ細かい学習指導				
	⑬ 保護者と情報交換や共通理解を図った連携・協力				

3 研修	<p>⑭ 研究、研修を通じた特別支援の専門性の向上</p> <p>⑮ 職員個のニーズ対応と教員間の相互支援</p>	<p>研修等による専門性の向上については、一定の成果が見られる。職員相互の課題については、キャンパスが離れていること一因と考えられる。協力体制の意識に合わせて、仕組み作りを検討する必要がある。</p>	B	B	<p>・各キャンパスが離れているので教員間の連携を進めて欲しい。</p> <p>・質の高い教育・支援を提供できている。</p>
4 生活・安全	<p>⑯ 児童生徒の健康な心身の育成と基本的生活習慣の確立</p> <p>⑰ 交通マナーの徹底と社会規範意識の向上</p> <p>⑱ 高い危機意識と防止対策</p> <p>⑲ 自然災害等に対する緊急時対応の整備と対応の充実</p>	<p>⑯、⑰、⑱の項目について A、B と評価した割合の平均が9割を超えている。日常生活を含め、安全や危機意識を高くもち、関連する取組を推進している。自然災害や防犯体制に関連する取組を引き続き進めていきたい。</p>	A	A	<p>・登下校の安全確保を引き続きお願いしたい。</p> <p>・基本的生活習慣の確立によく取り組んでいる。</p> <p>・自然災害、防犯体制の整備を更に進めて欲しい。</p>
その他	<p>⑳ 職員の各種委員会や課題研究の効果的な実施</p> <p>㉑ 児童生徒や職員の人権擁護</p> <p>㉒ 会議の精選と時間短縮、事務の効率化</p> <p>㉓ 児童生徒の登校意欲</p> <p>㉔ 保護者のPTA活動に対する意識</p> <p>㉕ 快適で安全な教育環境</p> <p>㉖ 個人情報保護と地域への情報発信</p>	<p>⑳、㉓、㉖の結果に見られるように「インクルーシブな学校運営モデル事業」をはじめ、一層教育活動の充実が図られてきている。特に項目㉓からは、児童生徒が日々の学習を楽しみに登校できていることが伺える。更に教育活動を充実させ A、B 合わせて 100%を目指したい。</p> <p>一方、施設の老朽化や狭隘化に加えて、小学部の分散配置等についての対応は急務であると認識している。</p>	C	C	<p>・各機関との連携を進め、施設充実の働きかけをお願いしたい。</p> <p>・児童生徒が楽しんで学校生活を送っており、質の高い教育ができている。</p> <p>・施設の分散に関する課題は対応が必要であると思う。</p> <p>・施設の老朽化に関する対応は早急に必要である。</p>

#### その他の意見

- ・地域の支援学級と支援学校との連携が更に深まれば、西諸全体の支援学級の先生方のスキル向上につながるのではないかなと思う。
- ・他の専門機関や事業所（放課後デイサービスや就労支援施設など）との連携についての評価も必要ではないか。